第３３回生徒研究発表会　土木科３年生　奨励賞受賞

令和６年１月１１日（木）　福岡工業大学　ＦＩＴホール

土木科３年「東京ゲートブリッジ（恐竜橋）模型製作～地域貢献活動について～」

古賀 友晴（歴木中出身）　内藤 翔大（大川桐英中出身）
森田 琳花（筑後中出身）　井上 天翔（筑後中出身）
鹿野 崚太（見崎中出身）　河野 友貴（羽犬塚中出身）
木下　駿（蒲池中出身）　古賀　豊（大川桐英中出身）
野口 竜伸（柳南中出身）

本校では、地域貢献活動の一環として、夏休みに「親子ものづくり教室」を実施し、東京ゲートブリッジ（恐竜橋）の模型製作を行い、参加した小学生に「ものづくり」の楽しさを感じてもらい、土木に興味を持ってもらうことに繋げています。

設計図を基に部品製作を行う上で、正しいスケールで木を切ったり、削ったりすることが求められる作業では、１つ１つ設計図通りに製作することの難しさを感じました。

橋を渡ってみたいという声があり、大恐竜橋の製作に挑戦しました。人が渡れる強度と安全性を確保した橋にするためにどれくらいの太さ、大きさで作ると良いのか試行錯誤したり、怪我をしないようにやすりがけや補剛材を入れたりしました。渡った子ども達からは「最初は壊れてしまうのではないかと心配していたけど、思っていたよりもずっと丈夫で安心して橋を渡れて楽しかった」、「こんな大きな橋を作れるんだとワクワクしました」などといった言葉を聞くことが出来ました。

目標である小学生に「ものづくり」の楽しさを感じ、土木への興味を抱いてもらうために一人一人が協力し模型、大恐竜橋の製作を進めることが出来ました。この先、社会に出て様々な経験を積んでいくと思いますが、新しいことへの挑戦を恐れず沢山のやりがいを感じ、自分の成長へと繋げていきたいと思います。